

日進市公共施設等総合管理計画（案） パブリックコメントの実施結果について

意見募集期間：平成 29 年 1 月 17 日（火）～平成 29 年 2 月 16 日（木）

提出された件数：17 件

	意見の内容	市の考え方
①	公共施設の役割、日進でその施設が果たしてきた役割を再確認し、整備充実させるための計画になるよう求めます。	施設を整備充実させるための計画とは主旨が異なりますので、ご意見として伺います。
②	管理に関する基本的な方針に「コストの縮減」があげられていますが、まず、市民の利用促進とより便利に快適に利用できるよう、利用者視点の観点を大事にしてください。	利用者視点も考慮しながら、コストの縮減の両面から検討していきます。
③	第 4 章（6）「複合化・統合化の検討」について 統廃合を調整のうえ実施とのことですが、コスト面優先の統廃合は行わないでください。	統廃合につきましては、利用者視点も考慮しながら、コストの縮減の面だけでなく、複合化・統合化による利便性向上等のソフト面を含め、総合的に検討していく必要があると考えております。
④	第 4 章（8）「広域に向けた検討」について 公共施設は各自治体、住民の宝です。広域連携はなじみません。歩いて行ける身近な公共施設として独自で拡充を行ってください。	全ての公共施設等ではなく、広域連携による維持・更新のスケールメリットが見込まれるものにつきましては、広域連携の検討を行います。従来のフルセット主義の考え方だけではなく、ハード面で不足する部分をソフト面で補うなど、より効率的にサービスが提供できるような公共施設等の維持管理・保有のあり方を検討していきます。
⑤	第 5 章 1-5 a) 保育園	今回の計画主旨とは異なりますが、ご提案として関係する部署へ伝えさせていただきます。

	<p>子育て世代が増える日進市で保育園は重要です。大規模改修とあわせてより充実するよう求めます。特に、東部保育園の大規模改修の際には、0歳クラスが復活できるようクラスの確保などが必要です。近隣の土地活用ふくめ学童保育施設の移転など、市民ニーズとあわせて総合的にこなしてください。</p>	
	<p>第5章 2 インフラ資産の管理について</p>	
⑥	<p>市民の安心安全のため、十分な予算確保、専門技術者の配置充実を求めます。</p> <p>「予防保全型ではなく事後保全型」とありますが、交通事故などのリスクを少なくするため「予防保全型」の対策が大事ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>ご意見の主旨を踏まえ、「重要路線を中心に計画的な維持管理を実施していきます。」と修正いたします。</p>
⑦	<p>赤池小学校は増築したばかりですが、箕ノ手地域はこれから大量に住宅が建設されます。この案ですと「増築しても対応することができる見込み」とありますが、児童の無理な詰め込みはやめてください。今後の児童増を見据えて小学校の新設を考えてください。今なら箕ノ手に建設することもできます。住宅が密集してからでは土地も買うことができなくなります。</p>	<p>今回の計画主旨とは異なりますが、ご提案として関係する部署へ伝えさせていただきます。</p>
⑧	<p>西中学校についても小学校と同様に児童増に対応できるように中学校の新設を考えてください。</p>	<p>今回の計画主旨とは異なりますが、ご提案として関係する部署へ伝えさせていただきます。</p>
⑨	<p>南部福祉会館、東部福祉会館について。</p>	<p>今回の計画主旨とは異なりますが、ご提案として関係</p>

	<p>両福社会館を増改築して、他の福社会館のように登録団体で借りられるようにしてください。</p>	<p>する部署へ伝えさせていただきます。</p>
⑩	<p>P.11 将来人口の見通し</p> <p>今年 1 月に日本老年学会が提言したように 75 歳以上を高齢者として捉えるべきという考えは今後主流となる可能性があります。そこで、図 2-3 の棒グラフの緑の部分を 65 歳～74 歳と 75 歳以上で濃淡をつけるなどして表示すべきであると思います。日進市の将来人口の見通しにおいて、75 歳以上人口が増え続けることが大きな特徴であり、それがわかるよう表示すべきだからです。もしくは、「日進市人口ビジョン・総合戦略」45 ページの図表 44 を加えてほしい。</p>	<p>ご意見のとおり修正いたします。</p>
⑪	<p>P.19 2-2 試算結果（2）</p> <p>18 ページの図 3-6 では、新規整備分は 7.0 億円/年、既存更新分は 1.0 億円/年と書かれているのに、表 3-4 では新規整備分が 1.0 億円/年、既存更新分が 7.0 億円/年となっているのはどうしてなのか、よくわかりません。</p>	<p>ご指摘のとおり、新規整備分と既存更新分が入れ替わっておりましたので修正いたします。</p>
⑫	<p>p.22 4-1 試算条件</p> <p>昭和 57 年以降に建てられた公共建築物の耐用年数を 80 年としています。建築物は 60 年を超えるとさまざまところに支障が生じてくることが知られています。80 年にするので</p>	<p>今回の計画につきましては、10 年毎に見直しを実施しますので、施設の長寿命化による修繕費用増加につきましても、劣化状況を踏まえて計画の見直しをいたします。</p>

	<p>あれば、61年から79年までは修繕費用を多く見込む必要があると思います。</p>	
⑬	<p>P.25 5-2 試算結果(2)</p> <p>18ページの「下水道特別会計における資本的支出」では、今度の新規整備は平成42年度頃の完了を予定しているとありますが、25ページでは、今後40年間は新規整備を続けると読み取れます。その根拠となる考え方を記載すべきだと思います。</p>	<p>ご意見の主旨を踏まえ、表及び文章について修正いたします。</p> <p>ここでは充当可能額を算出しており、新規整備・既存更新分として320億円(=8.0億円×40年)とします。</p>
⑭	<p>19ページのところで指摘したことと同様に、表3-11では、新規整備分280億円(=7.0億円×40年)、既存更新分40億円(=1.0億円×40年)ではないのでしょうか。</p>	<p>新規・更新分として320億円(=8.0億円×40年)とさせていただきます。</p>
⑮	<p>日進市は下水道管路が比較的新しいものが多いので、過去5年間においては、既存更新分が年平均1.0億円ですが、これから40年間既存更新分が1.0億円/年に収まるとは考えにくいです。表3-11の日進市モデルはもう少し精査して金額を出すべきだと思います。</p>	<p>ご意見の主旨を踏まえ、表について修正いたします。</p> <p>ここでは充当可能額を算出しており、新規整備が完了(平成43年)後の26年間の新規整備分を既存更新分として充当可能額としています。</p>
⑯	<p>p.27 将来における普通建設事業費の課題</p> <p>今後5年間の普通建設事業費は、何をもとにしているのでしょうか。道の駅、スマートインター、都市計画道路野方三ツ池線、新たな土地区画整理などを考慮すると、普通建設事業費の約85%を公共施設管理に回せると考えにくいです。本</p>	<p>今後5年間における歳入一般財源見込み額から歳出一般財源(経常経費)を除いたものとなっています。</p> <p>公共施設等総合管理計画は、計画策定の主旨から、現在保有する公共施設等が将来的に維持および更新が可能かどうかの検討を行っています。従いまして、今後の新規建設事業につきましては、考慮をしていません。</p>

	<p>当に財源不足にならないといえるのでしょうか。</p>	
<p>⑰</p>	<p>p.38～ 公共建築物の管理に関する基本方針</p> <p>個別の施設について、今後 40 年間の修繕・更新計画がわかるようにしてほしい。そうすれば、5 年ごとの本計画の見直しに役に立つと思うから。</p>	<p>個別の施設については、施設ごとに現在の状況に応じてそれぞれ計画策定することとしています。なお、本計画の見直しは 10 年ごととなります。</p>